

活動実績書

・ 平成 22 年度

平成 22 年 3 月の防災まちづくり計画の地域まちづくりプラン認定を受け、地域内に指定するいっとき避難場所の選定や指定に向けた権利者との調整を行った。また、防災まちづくりニュースを発行し、認定を受けたプランを地域に周知するとともに、防災への意識啓発を目標に防災イベントの企画検討を行った。

・ 平成 23 年度

防災まちづくり計画の地域まちづくりプランに基づき、事業費助成の制度を活用し、歩きにくい道の整備を実施した。また、地区内にいっとき避難場所を 2箇所設置し、災害時の一時的な避難場所の確保を行った。

防災への意識啓発を目標とした防災イベントを実施した。

・ 平成 24 年度

防災まちづくり計画で、消防水利が不足しているエリアにある、太田小学校東側の路線について、プールの水を消防水利に活用する消防車等の緊急車両が通り抜けできるよう狭い道路の拡幅整備を実施した。

また、事業費助成制度を活用し、三春台公園にかまどベンチの設置を行うと共に、かまどベンチの実演を兼ねた防災イベント開催した。

・ 平成 25 年度

緊急車両の通り抜けが困難な路線である三春台公北側の路線において、地区内で二度目となる狭い道路の拡幅整備工事を実施した。

また、2度目のアンケート調査を実施し、これまでの協議会活動に対する意見のまとめも実施した。

防災マップをベースとして、日常的に避難経路等の確認に利用できる防災マップワークシートを作成した。

・ 平成 26 年度

太田小学校横の狭い道路路線について、狭い道路の拡幅整備を実施した。また、事業費助成制度を活用し、地区内に指定されている「いっとき避難場所」にかまどベンチの設置を行った。

平成 25 年度に作成した防災マップワークシートを地域内に配布し、地域住民に避難経路等の確認を促し、防災の意識啓発を行った。また、東京の新防火規制地域の状況を調査するとともに、東京臨海広域防災公園の防災施設見学を行った。

・ 平成 27 年度

数年かけて検討を行ってきた防災倉庫の設置について、横浜市の身近なまちの防災施設整備事業補助を利用し、三春台第 2 公園内に整備を行った。また、これまでの 10 年にわたる活動を振り返り、活動年表及び整備実績マップを作成し地区内に配布をして、これまでの防災まちづくり活動の成果を周知した。

・ 平成 28 年度

防災倉庫に防災関連備品を備えつけるとともに、それらを実際に利用しながら、かまどベンチを活用した炊き出し訓練を実施した。また、地域住民を募り、横浜市民防災センターへの施設見学を企画し、防災の意識啓発に努めた。

災害時に地域で不足すると考えられる水の確保に向けて、井戸の整備等についての検討を開始した。

- ・ 平成 29 年度（2017）
 - 水道局職員の方から三春台公園に設置されている緊急給水栓について学んだ。またまち歩きで「雨水タンク」など、水のある場所を探した。
 - 子どもたちの参加も得て横浜市民防災センター見学・体験会を行なった。
 - 地域防災拠点の訓練に参加した。
- ・ 平成 30 年度（2018）
 - 定期総会終了後、横浜市危機管理課の方から感震ブレーカーについて学んだことがきっかけとなり町内会で購入の働きかけが進んだ。
 - 消火栓・防火水槽などを中心にまち歩きを実施した。その後横浜消防の方から、実際の消火活動、飛び火の仕方などについてレクチャーしていただいた。
 - 南消防署指導のもと、「だれでもできる初期消火」として消火栓からの放水と水消火器を使った消火訓練を行なった。スタンドパイプも体験した。
 - のマンション内に設置した「いっとき避難場所」「かまどベンチ」を使って火起こし、災害時の炊飯等を体験した。
- ・ 平成 31 年度（令和元年度）（2019）
 - 本郷三丁目まちの防災ひろば・「HOMMOKU もくり」の見学・訪問をした。
 - 定期総会後、消防署より「まちの防災力アップ」についての講演をしていただいた。
 - 大きな台風・水害が起こり、三春台及び周辺の町は崖が多いので土砂災害について学んだが、計画したまち歩きは2回とも実施できなかった。
 - 横浜市民防災センター見学を計画したが、新型コロナ感染防止のため実施を中止した。
- ・ 令和 2 年度（2020）
 - 新型コロナ感染防止のため、計画したが実施できなかった活動
初期消火訓練・横浜市民防災センター見学体験
 - 勉強
「みなみ防災ガイド」を中心に三春台の災害への備えについて南区区政推進課・まちづくりコーディネーターの方よりレクチャー
 - パンフレット「みなみ防災ガイド」を町内会幹事・班長に配った。
急傾斜地について横浜市都市整備局まちづくり課の方よりレクチャーしていただいた。
 - まち歩き……以前より緑が多くなり急傾斜が目立ちにくくなつたが、風雨災害のとき「大丈夫か?」と思われる場所や家もある。
 - 路上放置自転車等解消のための取り組みを、行政・近隣マンションの方の力を得て実施した。